

南笠東学区人推協だより

絆

きずな

第23号

2023年3月1日

南笠東学区
人権教育推進協議会

「総会」5月14日



「第3講座」7月15日



「第4講座」9月9日



「管外研修」9月27日



「実践発表のつどい（表彰式）」2月18日



すべての人が平等で平和な社会を

いつも人権教育推進協議会にご協力を頂き、誠に有難うございます。

人権教育推進協議会会長 岡田 隆男

昨年よりロシアによるウクライナ侵攻により世界情勢が不安定になり物価も上昇しています。更にコロナ禍で行動が制限され人との関わりが難しく、益々希薄になりストレスも溜まりがちです。これを機会に今まで少なかった家族間での対話を増やし目の前の様々な課題に向き合ってみてはどうでしょうか？

本年度は第3講座において多文化共生社会に向けてという事を学ばせて頂きました。我が南笠東学区は草津市において、玉川学区について2番目に多くの外国籍の方が住んでおられます。文化の違いで色々な問題はありますが、お互いに違いを認め合って共存していける社会にしていかなければなりません。

すべての人が平等で平和な社会になりますように、もう一度差別について考え、住み良いまち南笠東を築いていきましょう。



会長 岡田 隆男

令和4年度管外研修「ウトロ平和祈念館」を訪ねて 人権教育推進協議会副会長 浅井 利治

南笠東学区人権教育推進協議会では、委員の人権知識の研鑽を深めるため、人権に関わる施設や史跡を訪ねる「管外研修」を毎年実施しています。令和4年度も、新型コロナウイルス感染者の発症が続いていることから、人数を制限して昨年の9月27日(火)に開催しました。今回の研修会には12名の参加があり、研修先は、開設から5ヶ月と真新しい宇治市の「ウトロ平和記念館」を訪問しました。

宇治市のウトロ地区は、戦時中京都飛行場建設に従事した朝鮮人労働者の子孫が生活する地域として歴史を歩んできました。インフラは未整備で劣悪な住環境の中、民族差別を受けながらもたくましく生きて来られたウトロ地区の皆さんが、地域の歴史を残し平和を願う施設として、令和4年4月にウトロ平和祈念館は開館しました。

研修は、記念館の副館長様から、ウトロ地区の歴史や在日コリアンが差別を受けながらも、平和を願い続けた皆さんの思いをお聞きし、人権の尊さやウトロの歴史を学びました。講話の後は、施設内の常設展示コーナーなどを見学し、その後、住環境整備が進められている地域内をフィールドワークによる現地研修を行い、朝鮮人差別の歴史と人権について学ぶ研修会となりました。



令和4年南笠東人権教育推進協議会のモデル町内会よりの取組報告

令和4年度モデル町内会 東南笠町町内会人権推進委員長 山下 智恵

今年は学区内のモデル町内会に選ばれ、コロナ禍ではありましたが草津市同推協の第1・2講座をはじめ、第3・4講座も行われ、多くの事を学習することができました。

第1講座では、部落解放同盟草津市協議会の方の「わたしの思い」を視聴しました。若い女性の方の今までの経験談は心を打つ内容でした。

第2講座では、大阪教育大学名誉教授の森実さんの「部落問題学習で広がる人生-変わる社会~水平社100年部落差別解消推進法をふまえて~」を視聴しました。最近の差別事象や特徴をお話いただき、部落問題を学習することの大切さを学びました。



管外研修では京都のウトロ地区へ行きました。現在も差別に苦しめられる人々や人権学習を広げることの大切さを感じました。

第3講座では人権文化の広がりに関する学習会が行われ、第4講座を経て、町内学習懇談会を開催しました。31名が参加してDVD「人権のヒント(地域編) 思い込みから思いやりへ」を視聴後、DVDの感想や身近で感じた人権をアンケート用紙に記入してもらい、その内容を発表しました。4人の行政の方にもお話をいただき、様々な「人権」を学習することができました。



人権学習・管外研修に参加して 令和4年度モデル団体 まちづくりセンター自主教室代表 ピンポン・パンダ 水谷 修司

ピンポン・パンダは、最近人気の卓球クラブで技術の向上と健康づくりを目指しています。スピードの早い硬球とラリーが続くラージ球で練習しています。興味のある方は見学に来て下さい。



人権学習・管外研修では宇治伊勢田のウトロ平和祈念館を見学しました。私自身、京都で生まれ育ったのですが、戦前に京都飛行場が建設されていたとはまったく知りませんでした。飛行場建設は敗戦で工事が中断されたが、その時に集められた在日朝鮮人労働者たちの飯場跡につくられた集落です。

ウトロ地区は、長年にわたり上下水道などが整備されず大雨が降ると水害に悩まされる劣悪な場所でした。1988年に上水道が敷設されて喜んでいたら、知らない間に土地が転売され売りに出て住民は不法占拠者となり置き去りにされた人々を、支援する人たちの支援活動で日本政府と自治体も韓国政府の動きを受けて、困難をこえて互いが理解を深めあってウトロ地区における新たなまちづくりが出来て今に至ったそうです。ウトロ平和祈念館で見た人々の写真は苦難を何度も経験しているにも関わらず希望に満ちた笑顔が多かった。

人権研修の取り組み

令和4年度モデル団体 狼川・笠山老人クラブ会長 黒川 英男

令和4年11月4日(金)人権研修を行った。

冒頭、人権とは「人間が人間として、生来持っている生命、自由、平等などを保障された権利」から始まった。学習会は、26名の参加者で関心が高いと思った。

DVD「老いを生きる」の鑑賞の後、話し合いをした。「いっしょに考えてみましょう」と4つのテーマを挙げた。

①高齢者、認知症の方に対する偏見や固定観念を取り除くには？ ②高齢者介護における問題点は？

③高齢者虐待の問題解決は？ ④虐待の原因と解決方法は？

*認知症家族にとっては、地域の目が凄く気になり、中々相談しにくい。

*夫婦の問題も大きく認知症にどちらかがなると負担が非常に大きく一人で悩むこととなり、大きな事件になる事がある。

*他府県から来られた方は非常に住みよい所で人の温かさを非常に感じた。

*地域の元役員さんからは、勇気を出して相談して欲しい。特に年寄りだけの暮らしで居る場合は、

民生委員を中心に、隣近所、自治会、老人会にも相談を。

*家族、親族に負担が大きく係るが密に連絡を取っている。

思ったより数多くの意見があり「明日は我が身」を感じたと多く思われた。

まとめとして、「高齢者も社会の一員で有る事を認識し、その知恵の豊かな体験を充分に活用できる環境を作り、人権を尊重して共に生きていく社会を創っていく事が必要である。」

参加者が改めて人権について真剣に取り組んでくれた事について意識の高さを再確認した。



LGBT の研修を通じて

南笠東小学校 PTA 人権教育推進委員長 田中 直美

近頃、LGBT という言葉が新聞やテレビなどのメディアでも多く取り上げられるようになり、この言葉を一度も聞いたことがないという人は少なくなってきたのではないのでしょうか？

南笠東小学校 PTA では、LGBT についての学習の第一歩として、2月17日(金)に「正しく知ろうとにも学ぼう LGBT」と題して、LGBT 講演家 藤原 直さんをお招きし、人権学習会を実施しました。



LGBT の知識、情報、経験談などを中心に講演いただく中で、参加者それぞれに気づきがあり、これからの行動につながる学習会となりました。より多くの人が多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きることができる社会をめざしていく中で、私たち一人ひとりにできることを考える機会となりました。

玉川中学校 PTA の取組について

玉川中学校 PTA 人権教育推進委員 竹中 幸

コロナ禍でリアル開催の企画運営が難しい中でも、“つながり、気づく人権教育～親子のコミュニケーションを通して～”のテーマに沿って活動が出来ないかと思い、【一緒に読もう！一緒に観よう！～気づく人権作品～】と題して、人権に関するおすすめ作品の紹介をPTAの広報誌を通じて行いました。

中学生や小学生のご兄弟も興味を持って頂けそうな映画や本をPTA 広報誌でご紹介することで、親子・友達・兄弟姉妹・祖父母らと一緒に、みなさんがこれらの作品に触れ、人権について考える機会にして頂きたいと思っています。



町内学習懇談会推進者研修講座(第1・第2講座)

草津市立人権センター 諸頭 正樹

7月9日(土)、草津クレアホールを会場にて開催しました。

第1講座は、部落解放同盟草津市協議会より、第2講座は、大阪教育大学名誉教授の森実さんよりご講演いただきました。

その中で、「差別の現実を確かにとらえること」「現代の部落差別に関わる意識を整理し解決すること」「解決への手がかりを正しく学ぶこと」の大切さを学びました。

南笠東学区人推協の皆様、ご参加いただきありがとうございました。



人権作文 優秀作品

例年、2月に開催の「実践発表のつどい」で作文を朗読していただいていたのですが、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から朗読を中止しましたので、紙面にて掲載します。

「友達がいてよかった」

南笠東小学校 4年 山口 愛加

私が友達がいてよかったと思ったことは、嫌なことがあった時に相談にのってくれたことです。

例えば、喧嘩をしたときに友達にどんなことがあったかを話したら詳しく聞いてくれて、「正直な気持ちを使うといいよ。」と教えてくれました。相談したら少し気が楽になりました。

それから教えてもらったとおりに正直な気持ちを言って仲直りができました。

もう一つ友達がいてよかったと思ったことがあります。それは五分休憩の時に声をかけてくれたり休み時間に、一緒に遊んでくれたりします。一人じゃできない、鬼ごっこやかくれんぼなどでもできるようになって遊べる遊びが広がるのでみんなで遊んでいると楽しくなります。

今は、仲の良い友達とばかり遊んでいるけど、次は苦手な友達とも仲良くしたいです。だから、少し声をかけてみたいと思います。そして、一緒に遊びたいです。



「いじめ」と「いじり」

玉川中学校 2年 上園 菜々美

みなさんは、いじめとはどこからがいじめになると思いますか。これはとても難しい問題だと思います。私は、滑舌が昔から悪く自分でも理解していてとてもコンプレックスになっていました。ある日友達から「滑舌悪いよね。なんか言ってみてよ。」と言うような、バカにしているような発言をされていました。言われた通りに何か言ってみると、それを聞いていた周りの人達に笑われてたくさんバカにされました。そのことがあってから人と話すときにちゃんと話せているか不安になって声が小さくなってしまったり、黙ってしまうことがありました。そこからは本当に自分の声が嫌いで滑舌が良くなるように練習したり、出来るだけたくさん喋るようにしました。今では滑舌をバカにする人などは居なくて私も自然と気にする事はなくなりました。それでもバカにされたあの時の事は、今でもふと思い出して不安になったりする事もあります。正直私は今、自分の声が好きかと言われると嫌いです。今は自分の声が少しでも好きになれるように努力しています。相手は軽い冗談のつもりで言ってきた言葉なのかも知れません。周りから見たらこれは、ただのいじりなのかも知れません。でも私はいじめと同じような、ストレス、不快感を感じていました。例え相手がどんな気持ちで言ったとしても、言われた相手は一生心に残ります。いじめといじりを見分けるのは、難しいと思います。でも相手が辛い思いをしたならそれはいじめと同じことだと思っています。人によってそれぞれ考えは違うと思います。いじりが辛くて「やめて」とこの三文字がなかなか言えなくて困っている人達が沢山いると思います。

「その場の雰囲気壊してしまいそう。」「自分が我慢すればいいだけ」と思ってしまったたりしてなかなか言い出せないんじゃないかと思います。でも言われた本人がしんどくなったり嫌になったらそれはいじりではなくいじめだと思います。ですがなかなか自分から嫌だ、やめてとは、言いにくいと思います。嫌だと少しでも言いやすくなるような環境になってほしいと思っています。それでも言いにくいと思うので気軽に相談しやすい空間を作れたら良いなと思いました。まだまだいじりはそこまで酷い事とは認識されていませんが少しでもいじりは酷いことだと知ってくれる人が増えたら良いなと思いました。



「命といじめ」

南笠東小学校 4年 松尾 悠生

みなさんは、自分の命を大切にしていますか。命は一人にひとつしかありません。

いじめをすると、いじめをされた相手が、いやな気持ちになって、時には自殺してしまうこともあります。そんなことがあると、家族や周りのみんなも寂しい気持ちになったり、悲しい気持ちになったりしてしまいます。

人の命も自分の命も大切にすることで、みんなの未来が楽しくなっていきます。

そこで、いじめをなくすためには、一人ひとりの気持ちを考えることが大切です。自分は楽しいのかもかもしれませんが、相手からすると嫌な気持ちになっていることが多いです。しっかり相手の気持ちを考えて行動すると、いじめがなくなり、自分や周りの人の命を大切にすることができます。一人ひとり個性があり、相手と自分のタイプが違うなと感じると、いじめたり攻撃したりする人がいます。相手とタイプが違うのは当然なので、そこは気にせず、仲良くしていけるといいと思います。



みんなが周りの人の命を大切にすることでそれぞれが毎日を楽しく過ごせると、未来が楽しみになっていきます。これから僕は、嫌なことがあっても楽しく生きたいので、自分も周りの人の命も大切にしていきます。

身近にあるいじめ

玉川中学校 2年 和泉 瀬里奈

私はいじめは自分には関係ないと思っていました。でも「いじめ」は意外と近くにあったのです。

ある日、みんなで遊ぼうよってなり、遊びに行くと何人かの友達に来ていませんでした。聞いてみると「誘ってない。」と言われて私は不思議に思いました。なぜなら、初めて会った時に遊ぼうといっていた子と誘われていない子がとても仲が良さそうに話していたからです。その事があってからその二人はあまり話さなくなっていました。しかも、その二人がお互いにお互いのいない所で友達と相手の悪口を言っていたのを私は聞いてしまい、なんだか悲しくなりました。それだけでなく私はどちらかと話している時にその話が話題になると、思ってもいないのにうなずいてしまったのです。そして、その事を通してなぜいじめが起こってしまうのか、疑問を持ちました。

そこで私は、「いじめが起こる原因」を調べてみることにしました。調べていると「いじめの構造」というワードが出て、いじめは、「いじめる側」と「いじめられる側」の2層構造でなく、直接手を出さないけど、いじめを面白がったりして見ている人を「観衆」、巻きこまれたくない・次のターゲットになりたくないという感情から見てみぬふりをする人を「傍観者」という4層構造となっていることが分かりました。この事を知って、自分は「傍観者」だと思いました。次のターゲットになるということは思っていなかったけど、巻きこまれたくないと見てみぬふりをしてしまっていたと気づきました。そして、「いじめの原因」はみんなと違う存在への拒絶心、おもしろ半分のいたずら心などからいじめに発展していることが分かりました。

いじめの事を調べてみて、改めていじめは良くないと思ったので、私は絶対におもしろ半分で人をからかったりしないようにしようと思いました。また、クラスなどでいじめられている子がいたら先生や大人に相談しようと思います。



「人との関わり方」



玉川中学校 3年 宗田 詩織

私は、人に迷惑をかけたくない・きらわれたくないと考えすぎていた時期がありました。そのせいで、自分で全部かかえこんで、結局自分にくるしくなるようなことをくりかえしていました。今はそんなことも減りましたがその時私が学んだことがあります。

一つ目は、「私が思っている以上に人にたよってもいい」という事です。たしかに、相手が大変そうだったりする時に協力させたり全てをおしついたりするのではなく、普段自分のできることはして、どうしてもできない時に少し手伝ってもらうことです。それに気がつくまで、私は「自分の仕事だから、絶対に自分でやらない」と思っていました。でも周りを見ると意外とみんな支え合って、たより合っているのだから、少しくらいなら大丈夫だと学びました。

二つ目は、「ミスをすることは悪いことではない」ということです。もちろん何回も同じミスをしたりすることは悪いことだと思います。なぜなら、それは、そのミスをなおそうとしていないか、原因が解決していないからです。しかし、普通のミスは悪いのではなく解決させたり、対策や反省しようとしなくていいことが悪いことだと思いました。機械ではないので、完璧になるなんてことは少なくとも私には無理なので、失敗したからといって落ちこむのではなくそれからなにを学ぶのが大切だと学びました。



三つ目は「人にした事は自分に返ってくる」ということです。一つ目の「人をたよってもいい」と学んだ時、友達をたよった時、私が「ありがとう」と言うと友達が、「いつもやってくれてるから大丈夫だよ。」と言ってくれました。他にも人に優しくしているときっと相手も優しくしてくれるでしょう。しかし、悪いことも返ってきます。相手の気持ちを考えない行動なら、相手も、自分の気持ちを考えた行動をしたいとは思えないと思いました。そこから、人との関わりは大切にすることが大切だと学びました。

この三つで、私は、すごく楽になりました。「みんな私よりすごい」と思い込んでいましたが、大体学校では同い年なのです。できることなんて大体の人が同じで、たまたま得意か苦手かなだけなんだから、「私だけができない」と自分を下にさげなくてもいいとわかりました。ある程度は自分に甘くても、許してもいいんだとわかりました。それと同時に同じくらい他人にも甘く、許せると人ともっとよい状態で関われると思いました。

人権ポスター 優秀作品

玉川中学校



藤本 三福 (中2)



平井 理央奈 (中1)



上園 菜々美 (中2)

人権ポスター 優秀作品

南笠東小学校



山村 陽香 (小6)



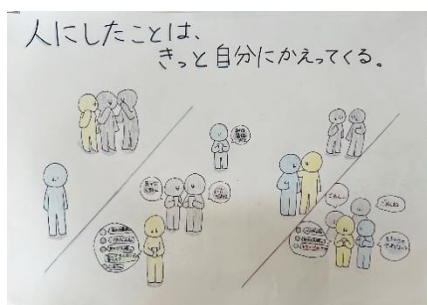
前川 萌杏 (小6)



大西 尚宏 (小6)



山田 瑛麻 (小6)



白米山 侑那 (小6)



岩本 優芽 (小6)



小谷 奈夢 (小6)



片原 凜央子 (小6)



佐野 友紀 (小6)



宮田 紗衣 (小6)



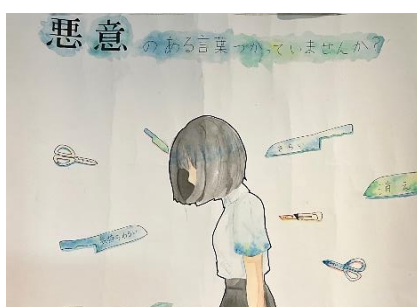
松田 彩希 (小6)



山形 佳暖 (小6)



塚田 琵琶里 (中1)



宗田 詩織 (中3)

玉川中学校





人権標語・作文・ポスター優秀作品

標語・作文・ポスターにたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

一般の部

標語

違いあって当たり前 みんな素敵な個性の持ち主
大丈夫？ 安易な拡散 フェイクかも
差別・いじめは しない させない 見逃がさない
有難うとごめんねは人の心を癒してくれる
もう要らん！ 差別といじめ 偏見も
ひとりじゃない 味方は あなたのすぐそばに

徳増 孝浩
太田 英樹
奥村 敏夫
久保 美紀子
竹下 敬二
菅原 知子



南笠東小学校

標語

友だちが 笑顔でいると うれしいな
友だちに 進んで言おう ありがとう
友だちが こまっていたら たすけよう
友だちと なかよく遊び 楽しいな
友だちの 気持ちを考え 行動を
かなしいよ みんなきずつく わるふざけ
思いやり 大切にしたい その気持ち
広めよう にこにこえ顔 しあわせを

城井 隆臣 (小3)
中川 詠 (小3)
平塚 大暉 (小3)
山本 あかり (小3)
河上 悠 (小3)
岸村 春樹 (小3)
犀川 志帆 (小3)
渡辺 蒼空 (小3)



南笠東小学校
マスコット
ころちゃん

作文

「友達がいてよかった」
「命といじめ」

山口 愛加 (小4)
松尾 悠生 (小4)

ポスター

山村 陽香 (小6)	小谷 奈夢 (小6)	佐野 友紀 (小6)
山田 瑛麻 (小6)	白米山 侑那 (小6)	片原 凜央子 (小6)
大西 尚宏 (小6)	岩本 優芽 (小6)	前川 萌杏 (小6)
松田 彩希 (小6)	宮田 紗衣 (小6)	山形 佳暖 (小6)

玉川中学校

標語

なくそう いじめや差別 増やそう 笑顔や優しさ
考えて 相手の気持ち もう一度
戦争は 未来を壊す 平和は 未来を輝かす
見ないふり やめて刈り取る 差別の目
やめようよ 見て見ぬふりと 他人のせい
考えよう 自分の言動 相手の気持ち

三浦 陽菜 (中1)
西田 清乃 (中1)
木村 美咲 (中2)
児玉 瑛祐 (中2)
東 優菜 (中3)
樋口 心晴 (中3)

作文

「身近にあるいじめ」
「いじめ」と「いじり」
「人との関わり方」

和泉 瀬里奈 (中2)
上園 菜々美 (中2)
宗田 詩織 (中3)

ポスター

平井 理央奈 (中1)	塚田 琵琶里 (中1)	藤本 三福 (中2)
上園 菜々美 (中2)	宗田 詩織 (中3)	



玉川中学校
マスコット
たまぞう